

2019年4月1日

2019年度 新入社員への社長メッセージについて

本日4月1日(月)、赤坂インターシティコンファレンスにて331名(伊藤ハムグループ 237名、米久グループ 94名)の新入社員を迎え入社式を行いました。

当社代表取締役社長 宮下 功より新入社員に向けたメッセージと、伊藤ハム株式会社 代表取締役社長 柴山 育朗、米久株式会社 代表取締役社長 堀内 朗久より激励の言葉がありましたので、要約を下記の通りご報告いたします。

記

<宮下社長 メッセージ>

はじめに

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

本日、皆さんが伊藤ハム米久ホールディングスグループの一員となられたこと、グループを代表してお祝いします。

平成を振り返ると

本日、新元号「令和」が発表され、1ヵ月後の5月1日から「令和」となります。平成を振り返ってみると、ベルリンの壁崩壊に始まり、ソビエト連邦の崩壊、湾岸戦争、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件などは、皆さんが生まれる前に起きた出来事です。9.11 米国同時多発テロがあり、その後、リーマンショック、東日本大震災が起こり、最近ではブレグジットやトランプ大統領の誕生など、国際政治は自国第一主義の傾向にあります。東西冷戦の終結で始まった平成が、国や地域・宗教による対立軸が目立ち始めた事は皮肉でもあります。

平成の時代に重要性が増した事象として、コンプライアンスや環境問題、個人の尊厳があります。CSRやSDGsといった言葉を耳にした事があると思いますが、私たち企業人としては、政治経済の変化に適切に対応することは当然のことながら、社会問題にも適切に対応する事が、近年ますます重要になっています。

変化への適切な対応の先導役に

平成で大きく進歩を遂げたものとして、IT・情報技術を忘れてはなりません。IT分野の発展は、日常生活での利便性向上のみならず、仕事においても効率化・生産性向上が成し遂げられました。更には、人工知能やロボットの発達により、今後30年でなくなる職種の予測もされています。

皆さんが社会人として生きていく「令和」は、平成以上に進化・変化のスピードが速い時代であろうことは間違いありません。皆さんは、世の中の進化や変化への対応力を持っているであろうことは想像に難くありませんので、職場においても、世の中の変化への適切な対応の先導役になれることを期待しています。

コミュニケーションはアナログも重要

その一方で、皆さんにお願いしたいのは、アナログをおろそかにしてはいけないという事です。わが社グループの仕事は、チームで行うものが殆どであり、職場の仲間や上司・先輩、前工程や後工程の人達、また仕入先や得意先の方々など、多くの人とコミュニケーションを取りながら進める必要があります。

これから皆さんが仕事で接する人は、一人ひとりが性格や考え方の異なる個性を持っている事を常に意識してください。アナログでコミュニケーションを取ることで理解できる相手の気持ちや意見もあります。なぜならば、アナログのコミュニケーションでは、文字だけではなく表情や声を通してより多くの情報を得る事が出来るからです。

同期の仲間を大切にす

同期の仲間は、何でも気兼ねなく話せる大切な存在です。皆さんが困ったとき・悩んだとき、親身になって話を聞いてくれ助けてくれる貴重な仲間です。勿論、上司や先輩も力になってくれるでしょうが、同期は格別です。同期の絆を深めることで、公私共に充実した会社生活を送る事ができるでしょう。

<柴山社長 激励の言葉>

本日は入社おめでとうございます。心より歓迎いたします。最初から全部上手くできる人なんて一人もいないですから、困ったことや失敗したことがあったら、直接、職場の方に相談するようにしてください。どんな失敗もミスも、今日からは会社の失敗やミスだったりします。それを皆で解決していく会社ですので、一緒に成長していきましょう。本当に、おめでとうございます。

<堀内社長 激励の言葉>

皆様入社おめでとうございます。これから向かうであろう職場の先輩方も、皆様と同じように緊張感と期待感を持って迎えてくれると思います。色々な方がおられます。是非、はっきりと声をだして、挨拶をして、わからないことは何度でも躊躇なく先輩に聞いてください。そのように職場もちゃんと指導しております。是非、安心して飛び込んできてください。本日は入社おめでとうございます。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 総務部広報室 篠原、眞島 TEL : 03-5723-6889 FAX : 03-5723-2112
------------------	---